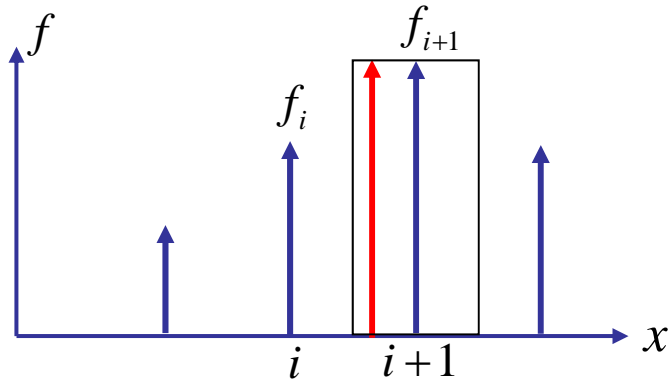


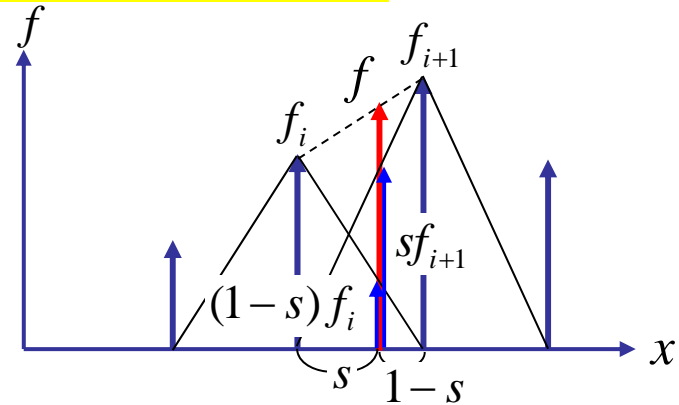


1次元信号の再サンプリングと補間

0次補間(最近傍補間)

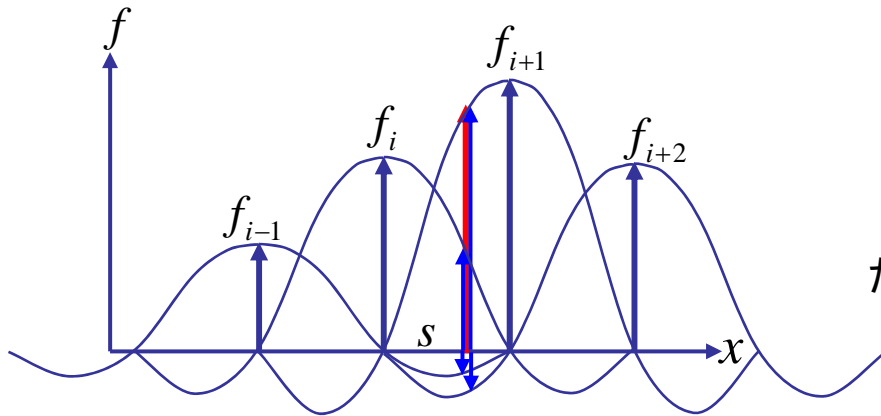


1次関数による補間



$$f =$$

Bスプライン関数による補間



ただし

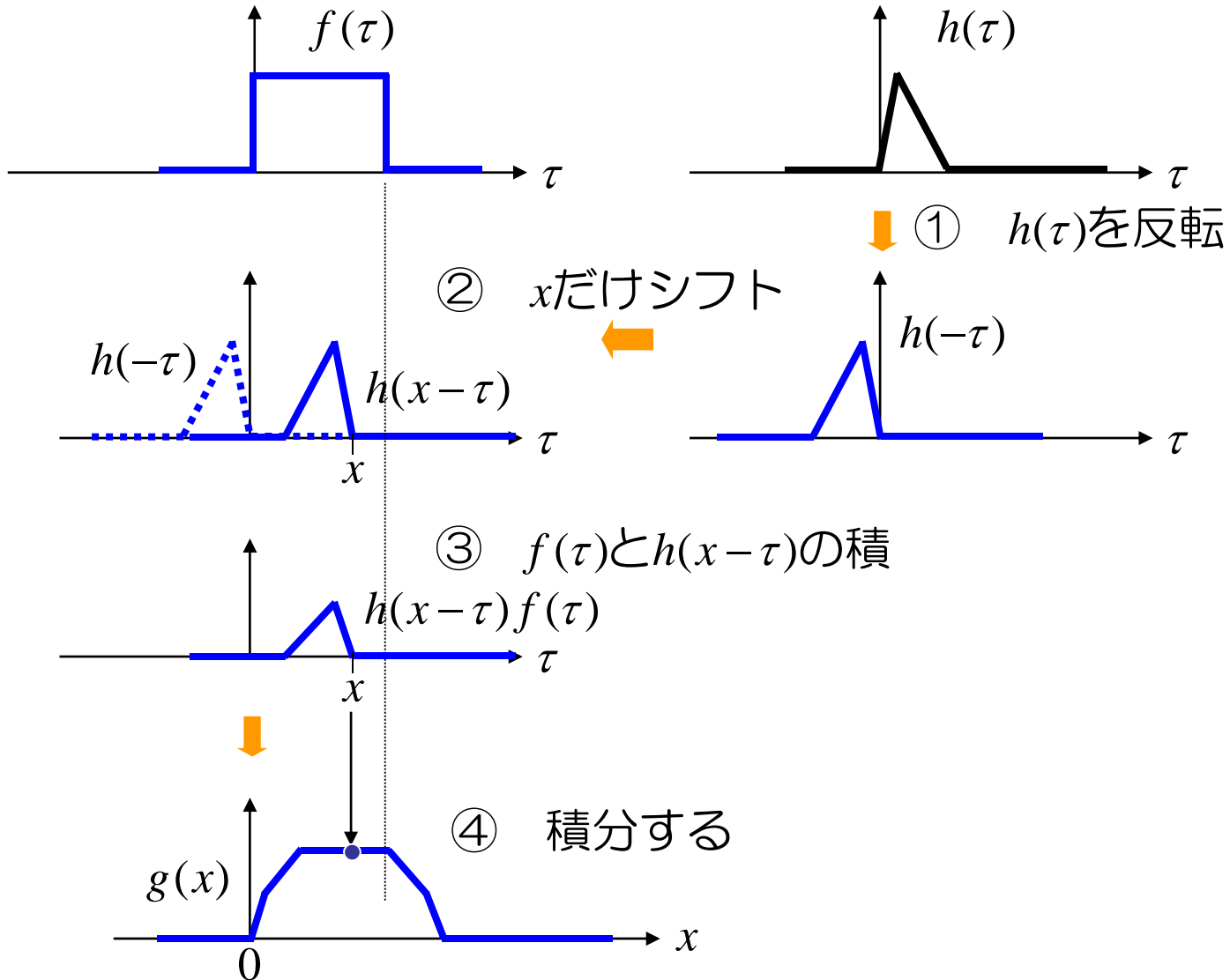
$$R(x) = \begin{cases} \frac{2}{3} + \frac{1}{2}|x|^3 - |x|^2, & 0 \leq |x| \leq 1 \\ \frac{1}{6}(2-|x|)^3, & 1 \leq |x| \leq 2 \end{cases}$$

4つの近傍信号に対してスプライン関数で重み付けられた和で与えられる



コンボリューション演算

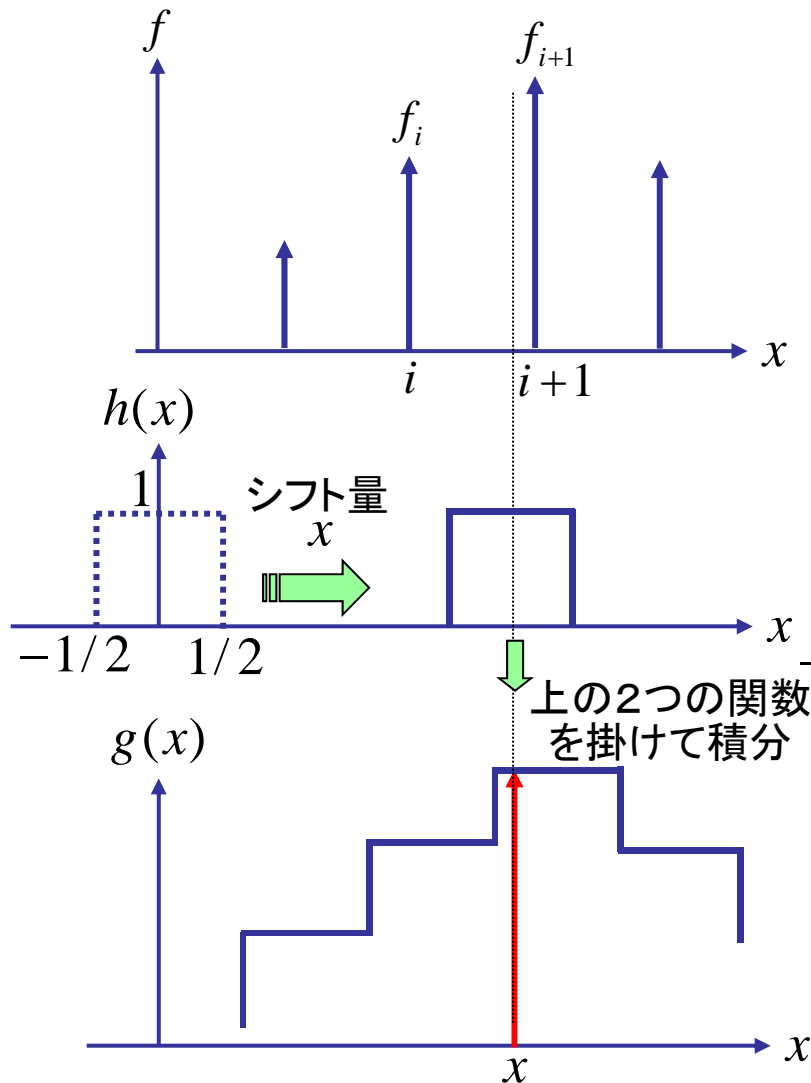
$$g(x) \equiv h(x) * f(x) = \int_{-\infty}^{\infty} h(x-\tau)f(\tau)d\tau$$



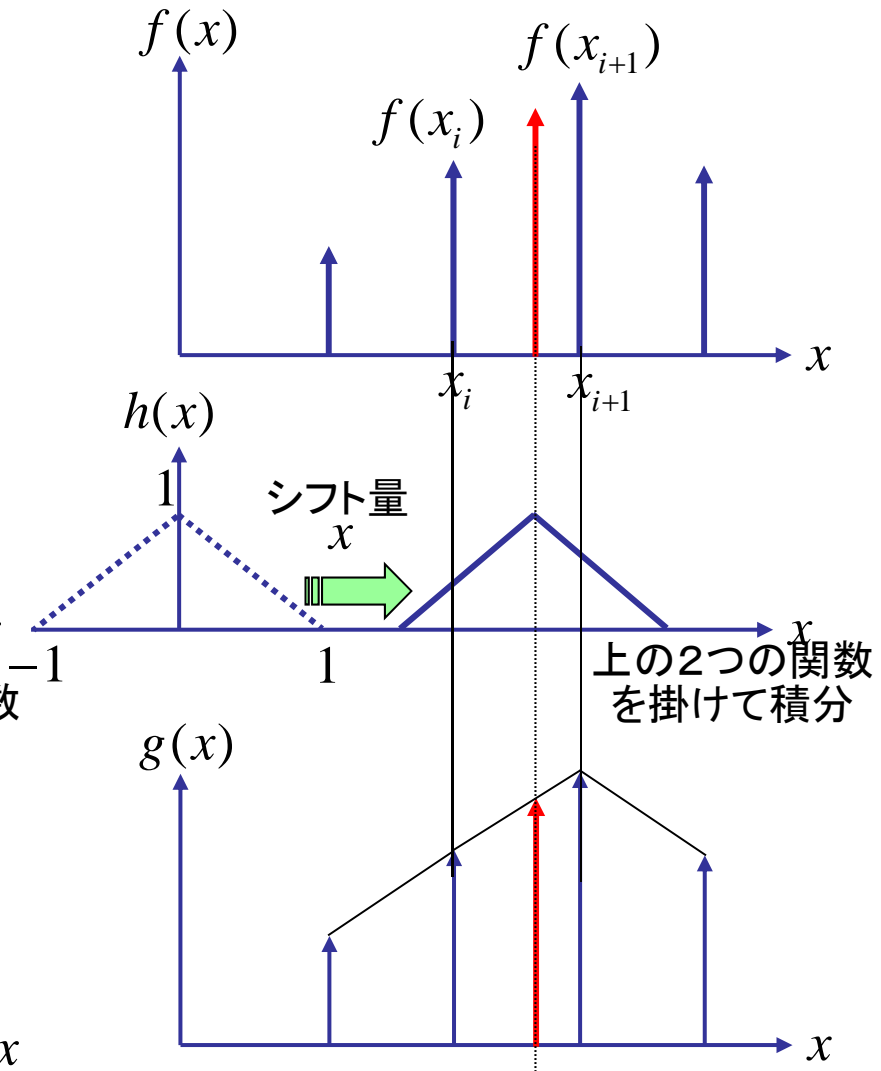


コンボリューション演算としての解釈

0次補間(最近傍補間)



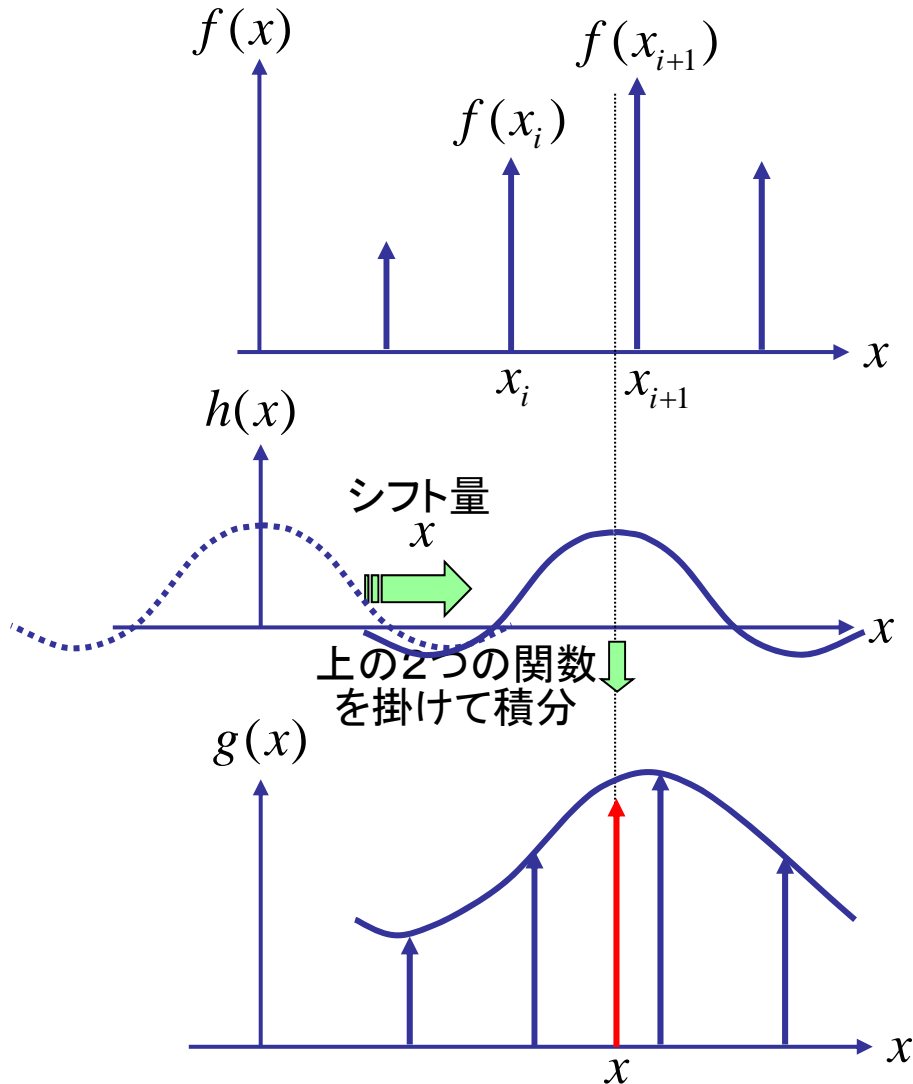
1次関数による補間





コンボリューション演算としての解釈 (つづき)

3次補間



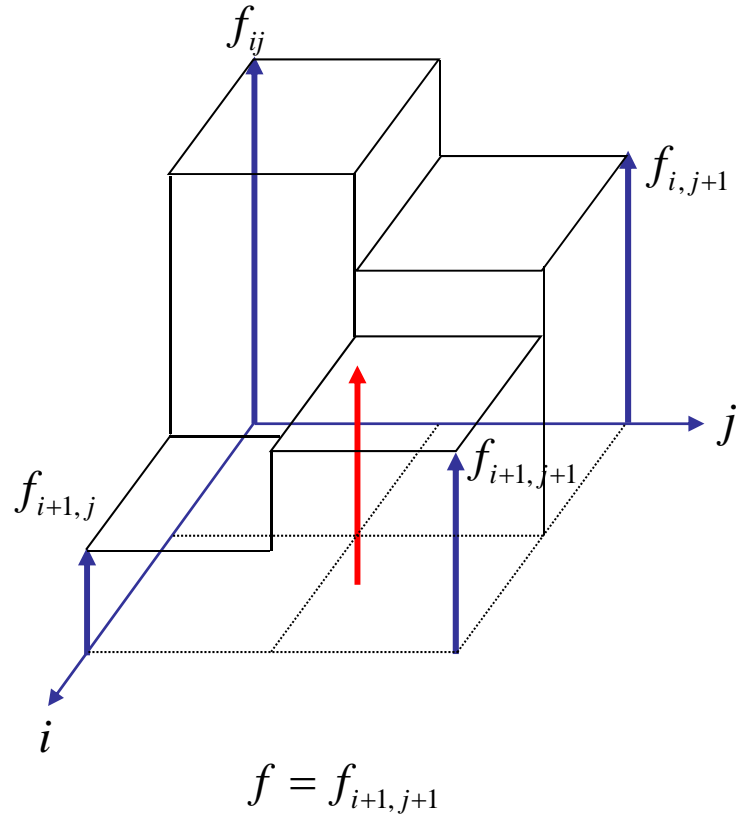
3次多項式 (Cubic B-spline)

$$R(x) = \begin{cases} \frac{2}{3} + \frac{1}{2}|x|^3 - |x|^2, & 0 \leq |x| \leq 1 \\ \frac{1}{6}(2 - |x|)^3, & 1 \leq |x| \leq 2 \end{cases}$$

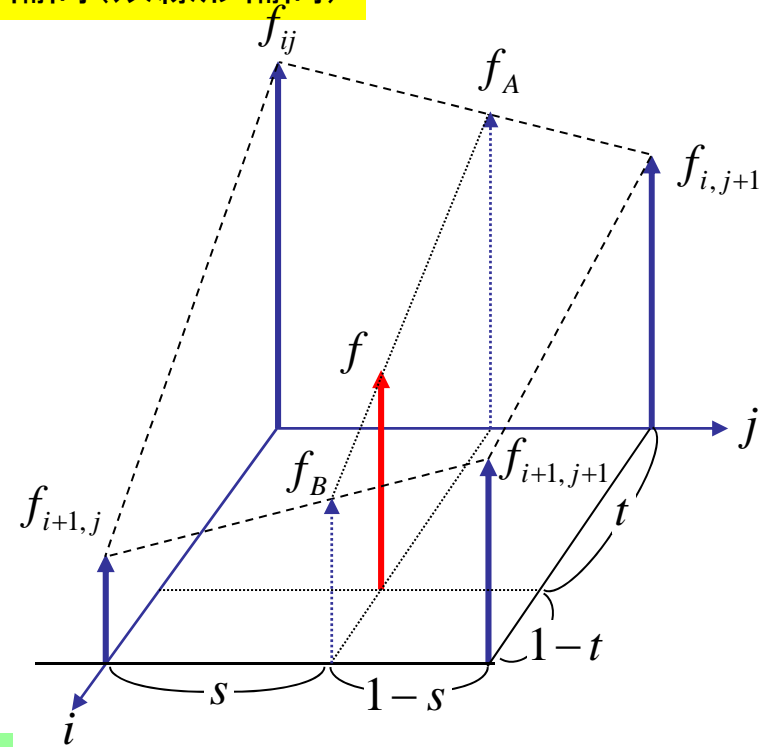


2次元画像の補間

0次補間(最近傍補間)



bilinear補間(双線形補間)



STEP1

$$f_A = (1-s)f_{i,j} + sf_{i,j+1}$$

$$f_B = (1-s)f_{i+1,j} + sf_{i+1,j+1}$$

STEP2

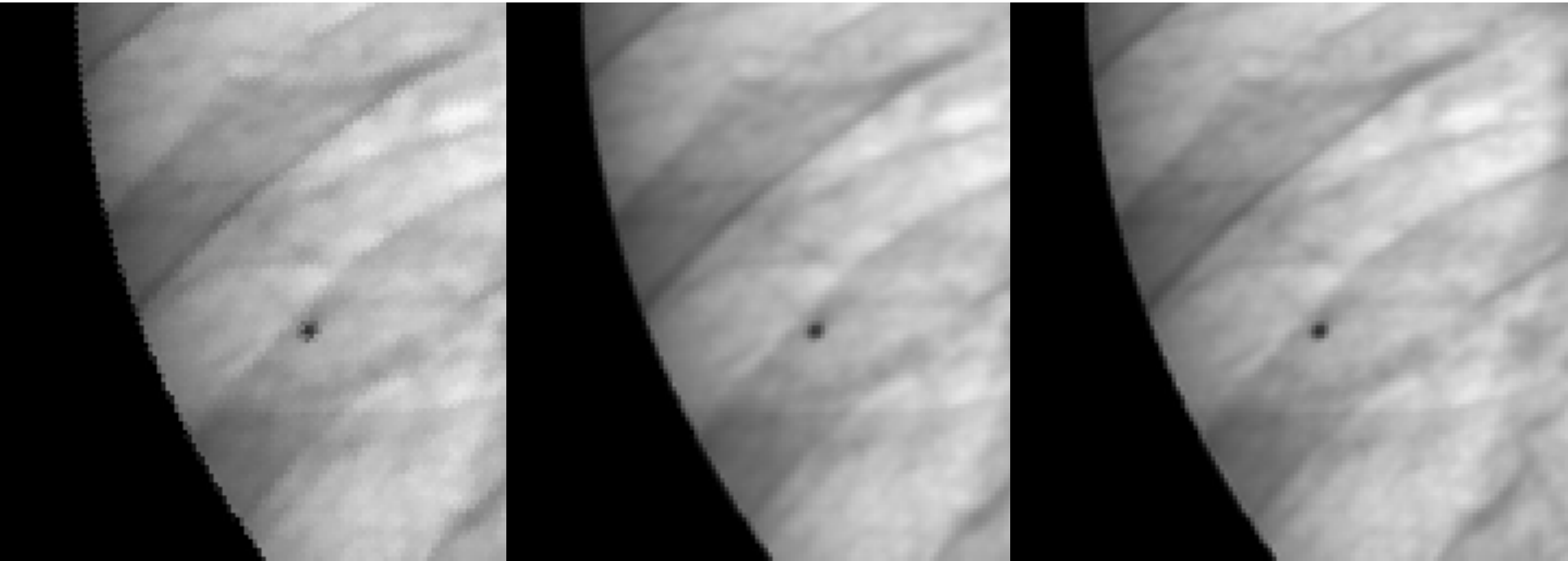
$$f =$$

参考

3次元の場合も、同様にして線形補間が可能. trilinearと呼ばれる.



画像の補間の例



0次補間

1次補間

キュービック補間

一部を拡大した様子